

### 病院理念

鳥取県立中央病院は、県の基幹病院として良質で思いやりのある医療を提供します。

### 方針

- 私たちは、急性期の高度・特殊医療をおこないます
- 私たちは、地域の人たちの安心・安全のため、救急医療に取り組みます
- 私たちは、地域の医療機関との連携強化に努めます
- 私たちは、地域の人々が納得される医療を行います
- 私たちは、組織人としての役割を遂行できるよう、研修・研鑽します

### 鳥取県立中央病院 広報誌

# 赤れんが

## 第11号

- 特集「緩和ケア」
- 院内トピックス
- Q&A
- 診療案内他

## 看護師採用試験のお知らせ！

中央病院では、「鳥取県職員(看護師)」を募集しています。

- 受付期間：平成20年1月18日～2月20日
- 試験日：平成20年3月1日(土)

試験についてのお問い合わせは、病院局総務課(TEL 0857-26-7885)まで

高度・専門特殊医療を支えます。  
あなたの輝く看護を待って

### WE NEED YOU!!



緩和ケア委員会の様子

### 「緩和ケア」

緩和ケア委員長

中村一彦



最近、緩和医療、とか、緩和ケア、といった用語を耳にする機会が増えていきます。WHOは緩和ケアを、「生命を脅かす疾患に起因した諸問題に直面している患者と家族のQOLを改善する方策(アプローチ)」で、痛み、その他の身体的、心理的、スピリチュアルな諸問題を早期かつ確実に診断し、早期に治療することによって苦しみを予防し、苦しみからの解放を実現すること」と定義しています。

ところが、我が国では、専門緩和ケアサービスは量的に不足しており、がんで亡くなる患者さんの90%以上は当院のような急性期病院で看取られているという現状があります。そのため、本年度より施行された、がん対策基本法では、がん医療の均てん化を図るために、「国および地方公共団体は、がん患者の状況に応じて疼痛等の緩和を目的とする医療が早期から適切に行われるようにすること」を定めています。また、そのための施設である、地域がん診療連携拠点病院には、「医師、看護師、医療心理に携わる者等を含めたチームによる緩和医療の提供体制を整備し、かかりつけ医とともに早い段階から緩和医療の導入に努め、地域における緩和医療の提供体制を整備すること」が求められています。

そのような中、当院では平成14年4月から緩和ケア委員会を構

成し、当院での緩和ケアの充実を図ってきました。現在までに行った主な取り組みとしては、

#### ①緩和ケア勉強会の開催

今年度は、「緩和ケア総論」・「症状マネージメント」・「コミュニケーションスキル」・「家族ケア・在宅ケア」について学びました。

#### ②中央病院緩和医療研究会の開催

年2回の研究会を開催。毎回70名程度の職員の参加があります。

③がん性疼痛緩和マニュアルの作成  
院内での疼痛緩和の標準化を図るため、平成14年7月に作成し、以後随時改訂中。

#### ④緩和ケアチーム活動

当委員会の委員が構成する緩和ケアチーム活動、チーム緩和、を平成17年8月より開始しています。が挙げられます。

今後は、地域における在宅緩和ケアの充実を図るため、診療所医師、訪問看護師等の多職種と緊密な連携をとりながら、がん患者さんへのより早期からの関わりを行い、在宅緩和ケアを展開していくことが目標です。

がんの苦しみよ、

さようなら。



「看護師の取り組み」

看護師長 西尾 和代

緩和ケアの目標は、患者さんの全人的な苦痛を理解し緩和し、できるだけその人らしい生活を保ち続け、同時にご家族の悩みを少しでも軽減しながら一緒に支えて行くことです。当院は急性期病院であるがゆえ、在院日数を短縮し、在宅が促進される中、患者さんとご家族は外来通院と入退院を繰り返して治療を受けておられます。

しかし緩和ケアは、「いつでもどこでも」とぎれなく継続的に提供されなければなりません。このような理由から、平成19年度より緩和ケア委員会の看護師数が6人から14人に増えました。構成メンバーは各病棟から1名ずつと外来および外来治療室からの1名ずつよりなり、継続的な緩和ケアに努めたいと願っております。

メンバーの中には、新しく委員になった人、委員会経験のある人、と知識・経験が異なっているため、まず委員会主催の勉強会や院外研修に参加して自己研鑽に努めています。

緩和ケア委員会の看護師の役割は、

①全病棟のスタッフが主体的に同一レベルの緩和ケアを行うためのサポートとして、指導用パンフレットの作成や基礎知識をまとめること

②病棟で主治医・病棟チーム看護師だけの関わりでは不十分な患者さんをピックアップし、緩和ケアチームで多角的な意見を出し、その人らしく自ら望む形で最期を迎えていただくこと

です。そのためには、私たち緩和ケアチームの看護師は、病棟とチームの架け橋となり、またある時は、患者さんとご家族の代弁者でありたいと考えています。

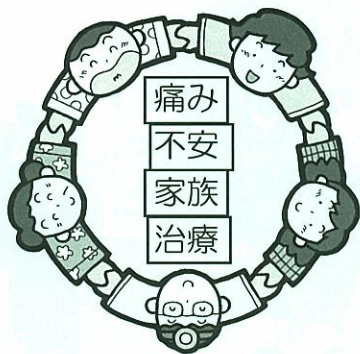
「在宅緩和ケアへの取り組み」

地域医療連携室

医療ソーシャルワーカー 秋田祐子

「在宅緩和ケア」とは、がんの終末期を家で過ごしたいという方だけではなく、治療を受けておられるどのような段階でも、患者さんの身体的・精神的苦痛をできる限り軽くして自宅で日常生活を送っていただくためのケアです。ご自宅でも在宅医の先生の往診や訪問看護師、介護保険のサービス（例えば排泄や入浴のお世話、電動ベッドや車椅子のレンタルなど）を利用して、安心して生活していただくことができます。当院のがん相談支援室では、自分の家で療養生活を送りたいと希望されているがん患者さんやご家族に、安心してご自宅で生活していただけるよう、専門の相談員（看護師・医療ソーシャルワーカー）が在宅緩和ケアの相談支援を行っています。私たちは、患者さんやご家族の不安をよく聞き、院内外の医療や介護のスタッフと協同して在宅ケアの橋渡しをしていきます。

どのようなことでもお気軽にご相談ください。



がん 特集 緩和ケア

病院は、病気の発見、治療をおこなうだけでなく、様々なサポートをおこなっています。今回は、がんの痛みや不安をサポートする「緩和ケア」について特集しました。

「心理療法師の取り組み」

がん相談支援室

心理療法師 今村 隆

当院の緩和ケアチームには、患者さんやそのご家族の気持ちのサポートをするために、心理療法師が加わって活動しています。身体的な疾患で入院しているのに、なぜ心理療法師なのか？と思われる方もおられるかも知れませんが、病気（それが生命を脅かすような疾患であるならばなおさら）になるということは、個人差はあるものの、患者さん自身やご家族にとって何がしかの心理的な負担を強いるものです。そんな時に、少しでも負担が軽減できるようにお手伝いしたり、ご相談を受けたりすることが主な業務になります。具体的には、患者さん自身が対象ならば、病気になることで生じてくる様々な不安や葛藤についてどう対処していくか、病気になった後のこれからの人生をどのように過ごしていくか、を一緒に考えたりします。また、ご家族が対象ならば、家族は、第二の患者、と比喻されることもあり、ご家族も患者さん同様に不安や葛藤などを抱えられていることもあるため、その揺れる気持ちを聴かせていただいたり、患者さんへどう接したらよいかわからない、というご相談などを受けたりしています。

「薬剤部の取り組み」

薬剤部 池内、黒川

がんの痛みを和らげることは患者さんの生活の質の向上に大きな役割を果たします。

痛みを取り除くお薬の中に医療用麻薬があります。「麻薬」と聞くと不安になられる方もいらっしゃると思いますが、現在は効果の高い安全な医療用麻薬が発売されています。痛みのある方が医師の指導のもとで適切に使用すれば中毒になることはありませんし、いのちを縮めることもありません。医療用麻薬を正しく理解し、安心して使用していただけるよう、病棟へ伺って説明や副作用の聞き取りを積極的に行うよう心がけています。

緩和ケアは、がんの痛みを取り除くことだけだと思われがちですが、実際は抗がん剤の副作用を減らすこと等も含まれます。薬剤部では抗がん剤による副作用（口内炎等）の症状を軽くするお薬を特別に作ったり、パンフレットを用いて抗がん剤や痛み止めを使う上での重要な注意などを詳しく説明したりしています。

緩和ケアにおいて、薬は重要な役割を果たすものの一つです。薬のことでお困りの時は、いつでも対応させていただきます。病棟や薬局窓口へお気軽にご相談下さい。

「がん相談支援室／地域医療連携室」  
へのお問合せは直通ダイヤル  
0857(21)85001



# 外来診療案内

(平成20年1月1日～)

## 鳥取県立中央病院

外来診療受付時間 8:30～11:00

※外来は基本的に予約制です。

予約に関する変更・お問い合わせは午後2時から受け付けます。

※緊急手術等で担当医が変更になることもあります。

面会時間 13:00～20:00

### 専門外来等

名称	月	火	水	木	金
内科	田中孝	森田	浦川	岡本	小村
	杉本	清水辰	田中究	柳谷	岡田
	榎崎	榎崎	田中孝	森田	清水辰
	岡本	田中孝	岡田	小村	杉本
	田中究		武田倬	山本寛	
	金田	柳谷		吉野	今本
		浦川	榎崎	榎崎	榎崎
循環器科	那須	遠藤	菅	吉田	菅
	吉田	吉田	吉田	遠藤	那須
神経内科	中安	浅井	中安	浅井	房安
	房安	中安		中安	中安
精神科	松林	松林	松林	松林	松林
小児科	木下	星加			木下
	宇都宮	戸川		宇都宮	宮原
	星加		星加	戸川	
外科・小児外科	岸	澤田	清水	前田佳	中村
整形外科	服部	上山	鱸(すずき)	山本哲	村岡
	上山	服部	上山	服部	山本哲
	山本哲	鱸	村岡	村岡	鱸
形成外科	坂井		坂井		坂井
脳神経外科	稲垣	宇野	稲垣		稲垣
胸部外科	前田啓	谷口		森本	
	春木朋	前田		宮坂	
泌尿器科	渡邊	根本	根本	森實	本田
	根本	森實	森實		根本
皮膚科	河上	河上	河上	河上	河上
産婦人科	皆川	大野原	池野	岡田誠	大畠
	岡田誠	大畠	皆川	大野原	皆川
	池野	岡田誠	大畠	池野	大野原
眼科	伊藤	八幡	伊藤	八幡	八幡
耳鼻咽喉科	竹内	竹内	鈴木	竹内	松尾
	鈴木(午後)	竹内(午後)			鈴木
放射線科	藤原	中村-	中村-		藤原
口腔外科	倉立	倉立	倉立	倉立	倉立
	山本	山本	山本	山本	山本
人間ドック	佐々木	交代	根本	杉本	根本

名称	曜日	担当医
ペースメーカー	水・午後	循環器(菅)
アトピー	水・午後	皮膚科(河上)
リウマチ	金・午前	整形外科(山本哲)
アレルギー・花粉症	月・午後	耳鼻科(鈴木)
更年期	金・午後	産婦人科
小児肝炎	月・午後	小児科(星加)
発達	金・午後	小児科(戸川)
不妊症	月・水・金 午後	産婦人科(大野原)
産科・周産期	月・水 午後	産婦人科(池野)
婦人科腫瘍	水・午後	// (皆川・岡田誠)
女性内分泌	金・午後	産婦人科(大畠)
加齢黄斑変性	月・火・木 午後	眼科(伊藤)
思春期外来	月・午後	精神科(松林)
物忘れ	火・午後	精神科(松林)
睡眠障害外来	水・午後	精神科(松林)
口腔外科腫瘍	第2,第4 月,(水)	口腔外科

※ 眼科の初診は、紹介状が必要となります。

その他の科の場合も、できるだけ紹介状をご持参下さい。

※ がん相談、医療相談は、外来棟1階中央の地域連携室までお越し下さい。

### バス時刻表 鳥取駅バスターミナル～中央病院 約15分 (平成19年10月～)

中央病院行き (鳥取駅発時刻)		鳥取駅行き (中央病院発時刻)	
13	00, 50	13	25, 57
14	30	14	20, 55
7	20, 40, 50	15	10
8	00, 05, 20, 30, 50	16	00, 40
9	20, 50	17	33
10	00, 20, 50	18	
11	10, 30	19	
12	20, 35	20	
		7	51
		8	20, 29, 31, 40, 45
		9	05, 15, 31, 50
		10	25, 53
		11	10, 55
		12	40, 55

## お知らせ

### インフルエンザ 注意報!

インフルエンザや、ノロウイルスなど感染症が流行しています。マスクやうがい・手洗いなどを心がけ、バランスのよい栄養と休養に努めましょう。おかしいな?と思ったら早めの受診をお勧めします。

※Q&Aコーナーを参照

